

イブニング サロンNEWS

2007 12/21 第8号
(年6回発行)

イブニングサロン公式サイト
<http://www.innovationpartners.jp/nonagase/evening.htm>

発行
「イブニングサロンNEWS」を発行する会
(事務局・東方通信社)
TEL:03-3518-8844

ニッポンのお家芸エレクトロニクス のスペシャリストが集結!!

12月21日(金)、第17回目の「新都心イブニングサロン」が行われる。今回のテーマは「エレクトロニクス」。すでに生活に欠かせなくなつた液晶モニタから、EIT機器の品質保証を手がける企業まで、今回も元氣な地元企業がプレゼンする。

半導体の量産技術を視野に入れながら グローバルな視点を養う

熊本大学 衝撃・極限環境研究センター

九州地域は大企業の半導体工場を多く抱え、「シリコンアイランド」と呼ばれるほど半導体の生産が盛ん。とくに熊本県はシリコンアイランドの中でも、大量生産を担う中心基地であり、地元の熊本大学でも関連の研究が行われている。半導体の



研究成果に期待が集まる久保田教授

微細加工を研究している熊本大学衝撃・極限環境研究センターの久保田弘教授もそのひとりで、「いかに早く、多くの種類の半導体を大量につくれるか」という「多品種大量生産」の企業ニーズに研究成果が利用されている。

久保田教授は、いくつかの研究テーマを抱えているが、0・1ミクロン単位の加工を行う「超精密高速スレージの開発」は、次世代半導体製造プロセスのキーテクノロジーとして注目されている。これは、電子顕微鏡に使われている電子ビームでウエハー(半導体基板材料)に書き込むときに支える台のこと。従来は、光の波長を使って細かいパターンをウエハーに焼き付けていたが、さらに微細な次世代半導体を加工するには限界があつたという。それだけ久

保田教授の研究には注目が集まっている。

現在、久保田教授は地域産業界の人材の育成にも力を入れている。「中央から任せられた仕事をこなすだけの下請け技術者で終わるのではなく、グローバルな視点から製造装置や検査・計測装置をつくれるようになってほしい」と話す。九州・熊本が日本の半導体製造を、そして世界を牽引していく、それが久保田教授の大きな目標である。

〒860 8555 熊本県熊本市
黒髪2 39 1
096 342 3292
<http://www.takahata-denshi.co.jp>

企画から量産まで 液晶の総合カンパニー

(株)タカハタ電子

現在、液晶の用途は拡大の一途。あらゆる方面に液晶が活躍している。液晶応用機器を生産して20年の歴史を誇るのが、米沢市のタカハタ電子だ。長年蓄積されたノウハウにより、今では小型車載用から大型業務用のディスプレイまで、多彩なラインナップを揃えるまでに。また、有名液晶ブランドの量産なども手がけている。

同社の強みは、顧客のニーズに合わせて、どの段階からでも柔軟に



多彩な液晶応用機器のラインナップ



液晶の総合カンパニーとして活躍

応じて生産できる。テレビやモニタなどを量産することはもちろん、

試作や小ロット対応といった特別なニーズにも対応できるようにしている。そして、多くの熟練士を抱えており、短期間で高品質ディスプレイを生産できる。また、物流ネットワークにも力を入れており、企画、生産、量産までなんでもできる液晶の総合カンパニーといったところ。

地元の米沢市には、山形大学工学部があることから、産学連携にも積極的に参加。ニッポンのお家芸である、液晶が強いのは、こうした企業が存在があるからではないだろうか。

〒992 0003

山形県米沢市窪田町窪田1188

0238 37 3355

<http://www.takahata-denshi.co.jp>

IT社会の立役者 製品の品質を保証する総合試験機関

(株)ザクタテクノロジ コーポレーション

78年設立のザクタテクノロジーコーポレーションは、携帯端末、IT機器がどのくらいの電磁波を出しているのか、あるいはどのくらいの電磁波の影響を受けているかを調べるEMC (Electromagnetic compatibility、電磁両立性) 試験サービスに定評がある。これに加え、製品の評価、安全試験サービスも行っており、各種国際認証、動作検証試験、信頼性試験なども行っており、IT機器の品質を保証する総合試験機関として注目されている。

同社の本社は横浜市だが、EMC試験サービスの拠点は、89年に設立

された米

沢八幡原
中核工業
団地にあ
る。当時
は、ノイ
ズ関連の
試験機
関東東
関東圏



大きな可能性を持つ米沢試験センター

が関東圏

にしかなく、地方の企業は東京に製品を運び込むしかなかった。あるとき、山形の企業から相談を受けたことがきっかけで、地方に試験機関の設立を決意。米国のテスト機関から技術移転し、山形に試験センターを開設することになった。

現在の米沢試験センターは、約1万㎡の敷地に最新の測定機器を備えており、測定業務を手がけるエンジニアたちによって、IT製品の品質が試験・測定されている。

島貫純米沢試験センター長は「これからも多くの顧客に愛される総合試験機関として努力していきたい」と話している。

(本社)

〒224 0003 神奈川県横

浜市都筑区中川中央1-5-9

045 910 0880

<http://www.zacta.co.jp/>

(米沢試験センター)

〒992 1128 山形県米沢市

八幡原5 4149 7

0238 28 2880

キメ細かなサポート体制で 産学官連携を強力に推進

埼玉県中小企業振興公社

埼玉県中小企業振興公社は、73年に埼玉県内の中小企業の振興を目的として設立された。設立当初は、下請け中小企業の振興が中心だったが、その後は人材育成や商業振興を加え、00年からは経営革新や創業・ベンチャーを目指す中小企業への経営相談、専門家派遣などまで手がけるようになった。

近年では、産学官連携による新事業の創出も実施。定期的にフォーラムなどを開設しており、直近では12



埼玉県中小企業振興公社のサイト

月12日に「第4回大学連携技術交流フォーラムin埼玉 埼玉県産学連携支援ネットワーク会議」を開催した。このときのテーマは「ものづくりの基盤となる溶接・部材の結合分野」で、「溶接」や「部材の結合」にかかわる技術に注目し、(独)理化学研究所・VCA Dシステム研究プログラム普及推進チームリーダーの須長秀行氏や埼玉大学大学院理工学研究科・人間支援・生産学部門加藤寛教授たちを講師に迎え、新しい溶接・結合技術の研究内容を発表した。県内には、埼玉大をはじめ芝浦工業大、日本工業大、東洋大、東京理科大、東京電機大、埼玉工業大、ものづくり大など多くの大学があるだけに、地元の中小企業とのコラボ事業に期待がかかっている。

〒330 8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1 7 5
ソニックシティビル10F
048 647 4101
<http://www.saitama-j.or.jp/>

自社商品アピールコーナー

お菓子の喜びを製造する
製菓機器の数々

株式会社マスダック



問い合わせ
〒359-1147 埼玉県所沢市小手指元町1-27-20
TEL: 04-2948-0161
<http://www.masdac.co.jp>

今回のサロンでのクリスマス企画を実施した株式会社マスダック(旧名:新日本機械工業株式会社)は、製菓機械の開発・販売、菓子の研究開発などを展開する企業。57年の創業以来、機械メーカーとして日本の和洋菓子業界の発展をリードしてきた。現在は、世界のトップメーカーを目指し

てまい進中である。同社は語る「お菓子は人々をほっとさせる役割もあります。世界中の人々がお菓子を食べて幸せな人生を送れることに貢献することが私たちの願いです」と。まさにクリスマスにピッタリの元気企業だ。

野長瀬教授の新コーナーが『コロンパス』でスタート!!

月刊『コロンパス』に連載してきた野長瀬教授の「地域仕掛人」インタビューが好評のうちに終了。今回は新コーナーの魅力について紹介したい。

イブニングサロンの世話人をつとめる野長瀬裕二・山形大学教授は、04年9月号から月刊『コロンパス』誌上で、「地域仕掛人インタビュー」のインタビューをつとめてきた。このコーナーでは、地域活性化のために奮闘しているコーディネータ、大学教授、自治体職員などヘインタビュールし、町・村おこし、企業再生、地域再生のノウハウなどを紹介してきた。07年11月号で実施したベンチャービジネス研究の第一人者である清成忠男・法政大学学事顧問へのインタビューを最後に好評のうちに終了した。

続いて12月号から始まった新企画が「野長瀬裕二のモノづくり通信簿」。ここでは、元気なモノづくり企業の工場、現場取材し、「成長意欲」「独自性」「営業努力」「モノづくり」「研究開発」「事業企画」「経営資源」「雇用創出」を総合的に採点している。

第1回目は、金型レスの技術で抜きん出ている(株)井口一世。どうしてその会社が強いのか、どうやってピンチをのりきってきたのか、といったことも追及しており、他社の参考になる要素も多い期待の新コーナーといえる。

サロン公式サイト アドレス変更しています

第10回新都心イブニングサロンで創刊された「イブニングサロンニュース」は、新都心イブニングサロン公式サイトおよび発行事務局の東方通信社サイトにてアップされています。第7号までアップしていますので、ご覧下さい。



今後引き続き、さまざまな角度からニュースを発信していきたいと思えます。新商品や新技術の開発や産学連携事業の開始といった新情報からご意見・ご要望までふってお寄せください。

新都心イブニングサロン公式サイト
<http://www.innovationpartners.jp/nonagase/evening.htm>
 東方通信社サイト
<http://www.tohopress.com>
 問合せ：03-3518-8844 担当：滝口
 e-mail：ryot@tohopress.com

月刊『コロンパス』が 元気企業を取材します!!

産業栽培誌・月刊『コロンパス』(東方通信社発行)には、野長瀬裕二教授の連載コーナーのほか、地元の元気企業を紹介するコーナーもあります。これまで、さいたま市産業創造財団の江田理事長(04年10月号)やNECパーソナルプロダクツの柴田執行役員(06年2月号)など、イブニングサロンの関係者・参加者たちの取材記事を多数掲載してきました。今後、取材を希望される方はご連絡ください。



問合せ TEL：03-3518-8844

イブニングサロンの主な世話人

江田元之(財)さいたま市産業創造財団・理事長/星野弘志 埼玉県労働工部新産業育成課・課長/村重嘉文(株)インシティ埼玉・取締役会長/野長瀬裕二(学)山形大学大学院理工学研究科・教授/浜中真人・さいたま商工会議所産業企画部・次長

主な企画運営委員

山田頼二(財)浜松地域テクノポリス推進機構・事業推進部長/江原秀敏 コラボ産学官・常任理事・事務局長/古川猛 月刊『コロンパス』編集長(東方通信社)/根津紀久雄 NPO法人北関東産官学研究会・理事長/柴田孝・米沢BNO副代表

ビジネスに利く「イノベーション塾」塾生募集中!!

NPO法人新都心イノベーションパートナーズ(野長瀬裕二理事長)では、現在「イノベーション塾」塾生を募集中。各界で活躍するコーディネータや大学教授、経営者たちを講師に迎え、厳しい経済環境でも飛躍していくためのノウハウを学ぶという経営塾だ。新技術・新製品の開発、新事業の展開、顧客や市場ニーズを意識した技術開発など、幅広く多くのことが学べる。

また、中国やベトナムなどのビジネスに強い講師も呼んでおり、中小企業の海外展開に役立つノウハウやビジネスマナーも伝授するという。以下の講師と内容を参考に応募してみたいはかがだろうか。

第1回2月8日(金) 18:00~21:00

「ITによる人材管理」野長瀬裕二・山形大学大学院理工学研究科教授(ものづくり技術経営学専攻)、北畠謙太郎・メディアファイブ代表取締役、「中小ベンチャー企業の知財戦略を考える」中村達生・(株)創知代表取締役

第2回2月15日(金) 18:00~21:00

「ものづくりとコストダウン」小菅一憲・東洋パーツ(株)会長、「実例から見る中小ベンチャー企業の資本調達」滝口匡ウエルインベストメント代表取締役

第3回2月29日(金) 18:00~21:00

「ベトナムにおけるビジネス慣習、パートナーの見つけ方」新田一福・(株)メトラン代表取締役、「中国におけるビジネス慣習、パートナーの見つけ方」古川猛・東方通信社編集長、「経営相談」野長瀬裕二、江田元之・中小企業診断士、内田保雄・(株)メガオプト代表取締役

問合せ

TEL：048-859-7317

<http://www.innovationpartners.jp>